

多古町社協だより
平成26年(2014)
第98号

発行 平成26年8月1日



多古第三地区社会福祉協議会(加瀬惠啓会長)

被災地復興状況を視察



福島県いわき市「いわき・ら・ら・ミュウ」にて
(詳細は5ページ)

主な内容

- 2~3ページ 平成25年度の決算・事業報告
- 4~5ページ カメラルポ・老人クラブ
地区社協
- 6ページ 寄付・心配ごと相談など

編集・発行

社会福祉法人
多古町社会福祉協議会

多古町多古777番地1
電話 76-5940
URL:<http://www.takoshakyo.jp/>

平成25年度 事業報告 (概要)

「ゆたかな自然と文化と歴史に育まれる町」

多古町社会福祉協議会は、地域の皆さんといっしょに、安心して暮らせるまちづくりのために活動している団体です。さまざまなサービスの充実とともに、今後ともさらなる発展をめざしていきたいと考えています。

※事業内容、決算の詳細はホームページで更新していきます。URL:www.takoshakyo.jp

居宅介護支援事業

要介護高齢者の総合的な相談やケアプラン等を作成し、住み慣れた地域で安心して快適な居宅において自立した日常生活が送れるよう、利用者の希望に沿った支援に努めました。

訪問介護事業

介護保険の認定者でサービスの利用希望者に、トイレ利用のための介助やオムツ交換、入浴介助をはじめ、買い物、掃除、洗濯など、安全を確保したうえで常に介助できる状態で見守りを行いました。

日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や障がいの方で判断能力が十分でない方々を対象に、福祉サービスの利用に関わる相談・援助をはじめ、日常的な金銭管理のお手伝いなど自立生活の支援をしました。

外出支援サービス(高齢者・障害者)

車いす、ストレッチャー対応の車両で要介護認定を受けた方や、重度の身体障害者の方などに外出支援サービスを行いました。

共同募金配分金事業

赤い羽根共同募金運動に積極的に協力しました。集められた募金は千葉県共同募金会へ一旦集約され、民間福祉施設、団体等に配分され地域福祉の向上に役立てられました。

多古町社会福祉大会

大勢の町民・福祉関係者の皆さんに参加していました。共に助け合い、生きがいとやすらぎのあるまちを築いていくことがアピールされました。

相談事業

広く住民の皆さまの日常生活上のあらゆる相談に応じ適切な助言、援助を行って地域福祉の増進につとめました。

食事サービス事業

保健推進員が健康に考慮した食事を、安否確認を兼ね、年10回提供しました。

ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業

70歳以上のひとり暮らしの高齢者に乳酸飲料を月2回提供し、安否確認、見守りをしました。

貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者世帯の自立と更生をめざして、「生活福祉資金」「たすけあい資金」の貸付と必要な援助指導を行いました。

日常生活用具貸付事業

一時的車いす等の介護用品が必要になった方に無料で（ギャッチベッドのみ有料）でお貸しました。

障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づく認定をうけて、サービスの利用を希望される方にヘルパーを派遣しました。

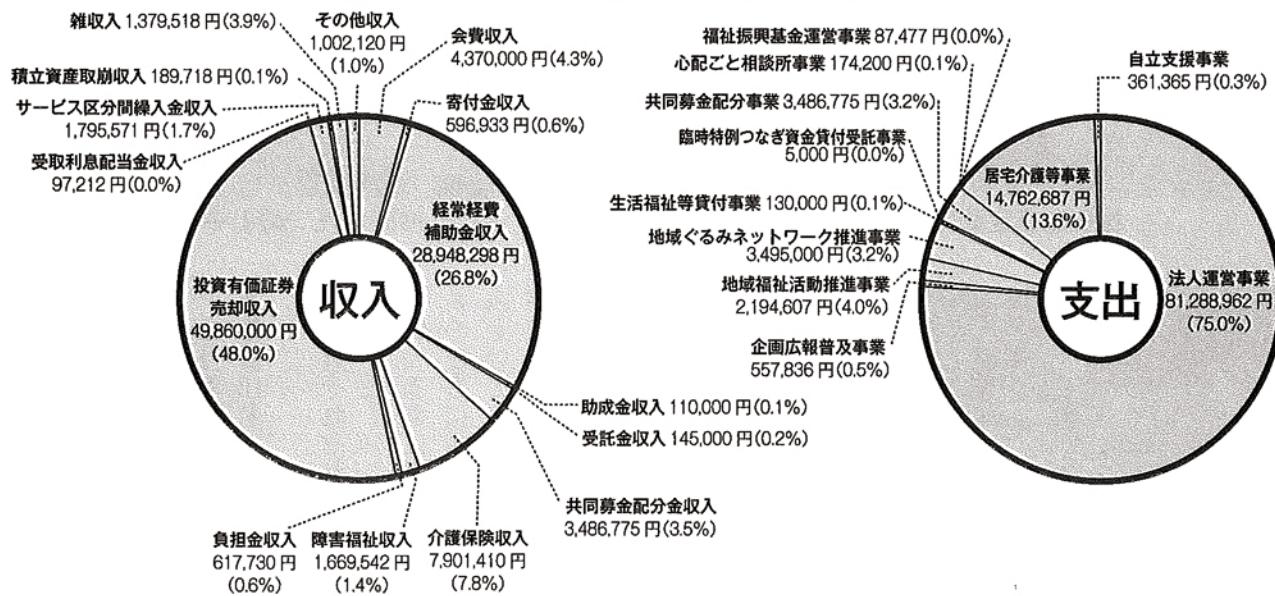
平成 25 年度 決 算 報 告

共に助け合い、生きがいとやすらぎのあるまちの実現に向けて

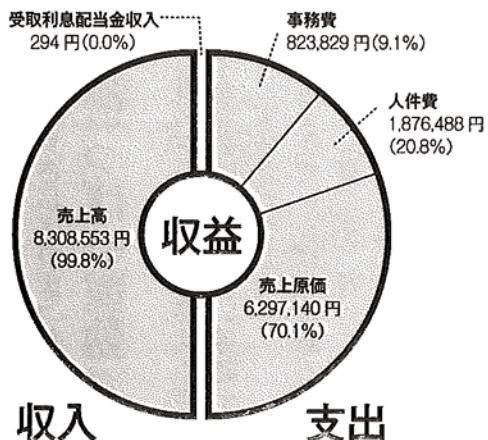
第1回理事会・評議員会、社会福祉事業など 決算を認定

5月26日、社会福祉協議会の理事会・評議員会が開かれ、
平成 25 年度社会福祉事業ほかの決算を認定。

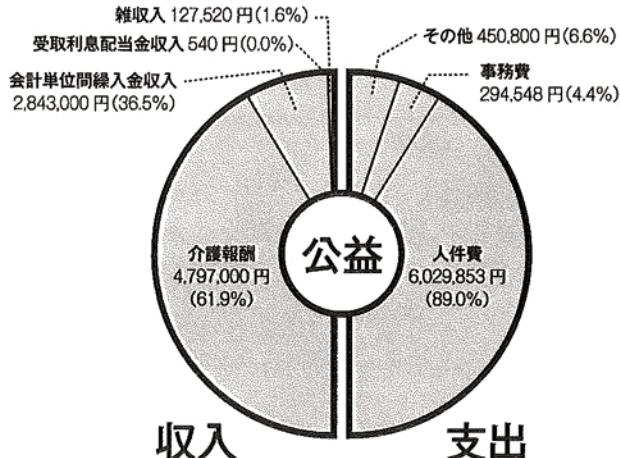
社会福祉事業 106,956,984 円



収益事業 8,997,457 円



公益事業 6,775,201 円



※法人内の資金の繰入繰出、預金の積替も含む。



地区的出来事やボランティア活動を紹介するコーナーです。みなさんの情報をお待ちしています。



多古町老人クラブ連合会の「平成26年度第1回軽スポーツ大会」が、6月13日、西古内グラウンドで開催されました。

さわやかな汗を! 軽スポーツ大会



3位 準優勝 香取嘉男
(次浦)

優勝 岩淵正夫
(十余三)



ねらいを定めて真剣なショット



仲間が見つめる中での一打



作業をする女性連絡員

わらじ作り

6月4日老人クラブ連合会、女性連絡員16名で、わらじ作りを行いました。

会員それぞれが持ち寄った着物や浴衣を長くひも状に裁断、作業しやすい大きさにアイロンをかけビニールのひもに巻き付けてていねいに編み上げていると色とりどりのわらじが完成。

わらじは町を通じて実行委員会に寄贈され、6月22日のあじさい祭り「多古米振舞行列」で使用されました。



▶花苗を受け取りにきた会員

祭りでは、武士や町民ふんする大勢の町民の足元を華やかに飾りました。

花いっぱい運動

6月3日、今年も多古町老人クラブ連合会の花いっぱい運動が全町一斉に実施されました。

町を花でいっぱいに彩ろうと、毎年2回(夏、冬)行っています。今回の夏の花は、黄色とオレンジ色のマリーゴールドです。

会員の優しさがたくさん詰まつた花が町を彩り、大勢の方々の目に止まるところで心が豊かな町づくりをめざします。



料理教室で健康づくり

多古町老人クラブでは、会員による料理教室が6月26日に保健センター調理室にて参加者31名で開催されました。

朝・昼・夕食を大切に1日3食のリズムが生活していくのにとても大切で夏バテ対策や水分補給の重要性など、今後の食生活に栄養士の作った献立による料理教室はとても参考になるものでした。

さっぱりしそ風味の『和風ライスサラダ』や、クエン酸で疲労回復にと、『鶏の唐揚げレモンソース』など、デザートにはフルーツたっぷりの『杏仁豆腐』。

栄養満点の手づくり料理に、舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごした会員でした。



鶏の唐揚げをレモンソースとなじませる会員

いわき・ら・ら・ミュウ、いわき市観光物産センターでは、震災当時の状況を「忘れないこと、忘れられないこと、忘れてはいけないこと」
「3・11いわき東日本大震災展・あの時何ができるのかを考える」と題しパネルの展示や映像などを公開。一行は、当時のすさまじい状況に目を奪っていた。

体育館の避難所の、当時使用されていた段ボールの仕切りを見学した一行は、被災された方の生活に声も

続いて、横山大観画伯が好んで描いた松と日の出と月のモデルの五浦海岸、五浦観光ホテル・大観荘で窓から見下ろせる海岸眺めながら和食を堪能した。こちらのホテルでは、当時一階の風呂が被災されて、現在は復興して観光客をなしませっている。

最後に風評被害で被災された、鉾田市のフォレストパークメロンの森にてメロン狩りや糖度の高い完熟メロンを味わった一行。

被災地復興状況を視察し、考え深く充実した一日となりました。

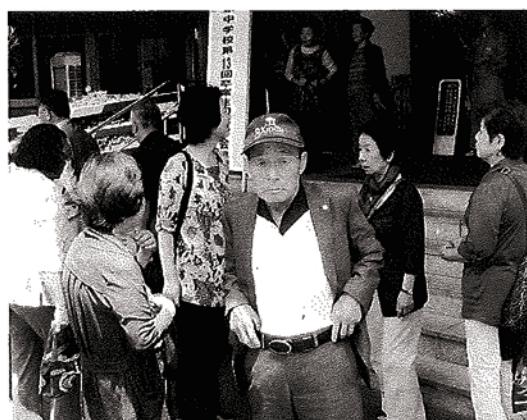
被災地復興状況を視察

6月25日、多古第三地区社会福祉協議会（加瀬恵啓会長）が、いわき市のいわき・ら・ら・ミュウ、鉾田市安房のフォレストパークメロンの森の視察研修を行いました。

現在、復興した観光物産センターは、新鮮な海の恵みを自由に満喫して、バラエティ豊かに楽しめる海産物が並んでいて観光客がにぎわっていた。



デザートの杏仁豆腐にフルーツを盛りつける



昼食場所の五浦観光ホテル



いわき・ら・ら・ミュウにて
いわき東日本大震災展の見学



鉾田のフォレストパークメロンの森にて
狩り取りの説明を受ける一行

お知らせ

多古中央病院売店で
ほつとひと時

買い物、
休息しませんか

国保多古中央病院の売店は、町の
社会福祉協議会が運営しています。

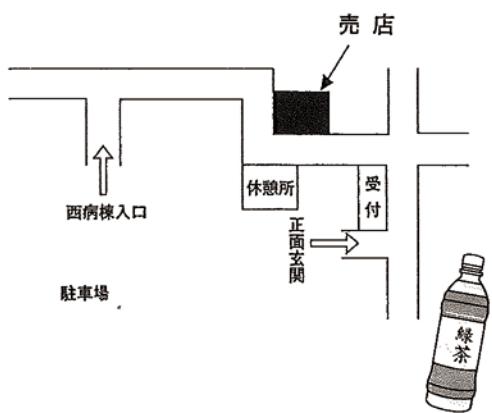
窓の外の緑が見えるテーブルもありますので、診察や会計の待ち時間、
お見舞い時のティータイムなどに活用していただけたらいかがでしょうか。

各種雑誌・新聞や飲み物、デザート類など多種取り揃えています。



買い物をする女性と女児

また、入院時に必要なものも、用意していますので、是非お立ちより下さい。職員が、明るく、さわやかな笑顔でお迎えいたします。



なごやかな会計のやり取り

多古町心配ごと相談所

- 担当相談員が無料で相談を行っています。
- 電話(70-6071)での相談も行っています。

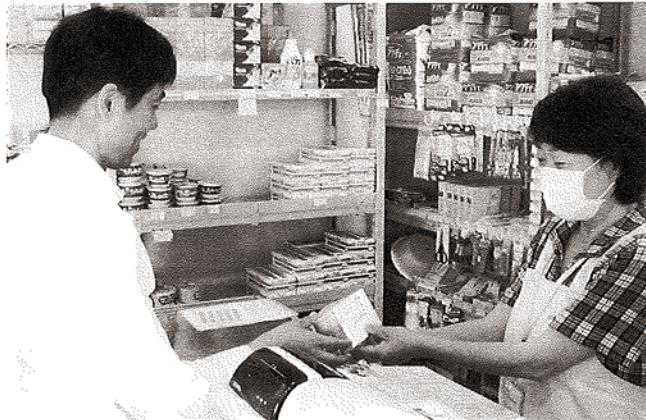
お気軽にどうぞ

とき

毎週水曜日
午後1:30から3:30

ところ

多古町社会福祉協議会



欲しい物が見つけやすい整った店内

『福祉活動に役立ててください』
と、次の方々から寄付金をいただき
ました。

ありがとうございました。

4月1日～6月30日 (敬称略)

・旧東保育所保護者会一同

・西谷老人クラブ

6,321円
5,000円

・えにしの会
12,841円

・東京国際空港ゴルフ俱楽部第13回
クラブエコルチャリティコンペ

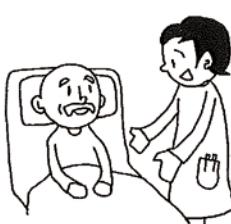
100,000円

・社協役員非常勤者有志

5,000円

・青山祐太後援会
4,754円

15,380円



善意のご寄付
ありがとうございます